

2019（令和元）年度 第35期事業報告書

自 2019年4月1日
至 2020年3月31日

公益財団法人 日中医学協会

はじめに

研究助成事業：

第五次日中笹川医学奨学金制度（奨学金制度）は、①第 40 期学位取得コース 10 名の第 2 年次研究助成を実施し、2020 年 4 月までに 3 名が博士学位を授与される優秀な成績を収めました。②第 41 期学位取得コース 10 名の研究助成、共同研究コース 18 名の研究助成を計画しましたが、学位取得コースにおいて 1 名が懐妊により休学を余儀なくされ（復学時期は COVID-19 の影響により未定）、共同研究コースにおいて 1 名が健康上の理由により辞退しました。第 41 期学位取得コースでは 1 名が課程博士を取得しました。

奨学金制度の特筆事項として、修了生の中から、新たに院士(中国の最高学術称号)2 名が誕生しました^{※1}。修了生延べ 2,307 名中、院士が計 4 名となりました^{※2}。

「第二次日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト」は、期初計画通り 6 月に通算第 6 期研修を、11 月に通算第 7 期研修を実施しました。本プロジェクトを通じて、「がんの早期発見、早期治療」により、中国における 5 年生存率等の向上に寄与することが期待されます。

学術会議開催事業：

2019 年 6 月 19 日に「日中医学交流会議 2019 東京——がん治療の現況と近未来」を開催しました。2018 年ノーベル生理学・医学賞を受賞した本庶佑京都大学特別教授が基調講演を行い、日中両国の専門家 8 名が、ウイルス治療、分子標的治療、放射線治療、内視鏡治療について講演を行いました。会議の内容は、2019 年 9 月発行の機関誌『日中医学』Vol. 34 No. 2「特集：学術シンポジウム《日中医学交流会議 2019 東京》」に掲載しています。

医療協力事業は、笹川医学奨学金進修生同学会（笹川同学会）事業において、(1) 短期診療技術・技能研修、(2) 日中共同フォーラム、(3) 地域医療支援活動、(4) 支部学術会議の 4 事業がほぼ所期の目標を達成することができました。この 4 事業は目的を通底させ、笹川同学会が日中医学協会と共同で、日中両国専門家の講演と意見交換を通じて、政策提言を纏め、中国国家衛生健康委員会へ笹川同学会モデルとして報告することにしています。

単なる友好交流でなく、今後どのように事業展開していくか、日中医学協会は中国で何ができるか。目標値等を設定して、引き続き、笹川同学会事業に協力して参ります。

以上、2019 年度はほぼ計画通りに事業を実施することができました。

情報発信力を高めつつサービス向上に努め、2020 年度も当協会の飛躍に向けて鋭意努力してまいります。役員はじめ産学官民各方面の皆様には、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

※1 ①首都医科大学副学長王松靈先生、第 8 期生/中国科学院院士 2019 年、②哈爾濱医科大学学長張学先生、第 11 期生/中国工程院院士 2019 年

※2 ①四川大学教授魏于全先生、8 期生/中国科学院院士 2003 年、②浙江大学医薬学部主任段樹民先生、3 期生/中国科学院院士 2007 年

1 当法人の現況に関する事項

1) 事業の経過及びその成果

2019 年度事業計画に従い、当法人の事業、ア研究助成事業、イ学術会議開催事業、ウ医療協力事業、エ広報事業は、ほぼ計画通り実施された。

詳細は附属明細書に記した。

重要な成果

① 日中笹川医学奨学金制度（第五次制度）

第五次制度（学位取得コース、共同研究コース）第 40 期（学位取得コース 10 名）の助成及び第 41 期（学位取得コース 10 名、共同研究コース 17 名）の助成並びに第 41 期学位取得コースの中間評価及び第 42 期の募集と選考により合格者を確定した（学位取得コース 10 名、共同研究コース 20 名）。

第 40 期・第 41 期学位取得コースは 4 月までに 4 名が博士学位を授与された。第 41 期学位取得コースは、研究一年経過後の中間評価において、全 10 名が合格し、第 2 年次の助成を行う。第 41 期共同研究コースは、2019 年 10 月 21 日に研究者集会を開催し、日中双方の研究者 34 名が研究発表した。詳細は附属明細書に記した。

② 第二次日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト第 1 期（通算第 6 期）を 2019 年 6 月 18 日～7 月 18 日に実施、第 2 期（通算第 7 期）を 2019 年 11 月 13 日～12 月 13 日に実施した。詳細は附属明細書に記した。

計画の未達

(1) 学術会議開催

① 日中医学交流フォーラム

2018 年度からの懸案事業（高血圧関連フォーラム）であったが、中国からの申入れが無く未実施となった。

(2) 医療協力事業 6 分類の内、下記事業が計画の未達となった。

① 医療の国際化に係わる事業：日本式医療の拠点化に向けた事業性調査 ——中国国家衛生健康委員会との連携が進展しなかったことによる。

② 医療関連訪日団等招請事業：日本・アジア青少年サイエンス交流事業 ——他の諸事業を優先し、応募しなかったことによる。

③ 訪中団派遣事業

——他の諸事業を優先し、募集しなかったことによる。

※ 日本式医療の拠点化に向けた事業性調査——生活習慣病（高血圧・糖尿病）の予防と治療に関する日本式医療の試行は、中国国家衛生健康委員会と再検討する。

決算概要

会計別	予算額 円	決算額 円	達成率 %
公益会計	229,317,000	195,144,289	85.1%
法人会計	8,450,000	6,845,349	81.0%

2) 資金調達等の状況

主な収益 ①日本財団助成金 129,742 千円
 ②会費/事業収益/受取寄附金 67,299 千円

3) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

単位:円

区 分	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
一般正味財産経常収益	194,547,690	139,183,793	163,478,214	200,903,220
同評価損益等調整前 当期経常増減額	1,915,895	-16,794,999	4,130,174	-1,086,418
同当期経常増減額	1,915,895	-16,794,999	4,130,174	-1,086,418
同当期経常外増減額	—	—	—	—
指定正味財産増減額	4,598,101	-1,800,000	1,800,000	-1,800,000
正味財産期末残高	346,539,552	327,944,553	333,874,727	330,988,309

4) 主要な事業内容

事 業	主な事業の内容
研究助成	1. 日中笹川医学奨学金制度（第5次） ① 第40期 ・学位取得コース10名（第2年次） 2019年4月4日 研究一年経過後の中間評価 ② 第41期 ・学位取得コース10名 2019年4月11日 研究者認定式 2020年3月27日 研究一年経過後の中間評価（書面審査） ・共同研究コース17名 2019年10月21日 共同研究者集会（学位取得コース研究者陪席） ③ 第42期 ・学位取得コースの募集と選考 2019年9月14日 日中共同面接試験（10名合格） ・共同研究コースの募集と選考 2019年10月31日 共同研究等選考委員会（20名合格） 2. 中国人医師・研究者招聘事業 ・腎臓内科医師育成プロジェクト 2019年5月17日～1年間 研究先：帝京大学医学部内科学腎臓グループ（内田俊也教授） 研究者：齊平平（天津第一中心医院腎内科医師）
学術会議開催	1. 主催・共催事業 ① 日中医学交流会議 2019 東京……がん治療の現況と近未来 — 日中演者の選定：基調講演、ウイルス治療、分子標的治療、放射線治療、内視鏡治療 — 実施：2019年6月19日（日本医師会館）

学術会議開催	<p>2. 協力・後援事業</p> <p>① 世界中医薬学会連合会第4回アジア太平洋地域中医薬サミット【後援】</p> <p>② 日中看護国際シンポジウム ～未来に連ぐ日中看護交流～【後援】</p> <p>③ 「CHINA-HOSPEQ 2019」日本医療機器テクノロジー協会学術シンポジウム【後援】</p> <p>④ 2019年度医学生のための漢方医学セミナー【後援】</p>
医療協力	<p>1. 笹川医学奨学金進修生同学会事業</p> <p>① 短期診療技術・技能研修——腹腔鏡</p> <p>② 日中ハイエンド医学フォーラム——がん対策、高齢化対策</p> <p>③ 地域医療支援活動——省都江堰市医療中心/皮膚科 日本支部健康講座・相談会：埼玉、東京</p> <p>④ 支部学術会議——遼寧地区等7地区で開催</p> <p>⑤ 笹川同学会の要請による上記事業への専門家派遣</p> <p>2. 専門家派遣事業</p> <p>① 上記の笹川同学会事業への専門家派遣</p> <p>3. 医療関連訪日団等招請事業</p> <p>① 山西省・吉林省合同病院長訪日団(研修) 河南科技大学第一附属医院派遣医師(研修) 第2回日中病院長専門化—現代病院管理制度研究討論会訪日団(研修) JICA 国別研修パンデミックインフルエンザ等新興/再興感染症等プロジェクト(受託)</p> <p>② 医療関連訪日団・訪日者の招請： ——四川省人民医院派遣医師の招請等18件（内3件がCOVID-19の影響により訪日中止となった）</p>
広 報	<p>①機関誌『日中医学』の発行（第34巻1～4号）</p> <p>②ホームページからの情報発信の強化（Webコンテンツの充実）</p> <p>③メール配信（『日中医学協会 News』）</p>

5) 会員に関する事項

種 類	当年期初 名	当期末 名	増 減 %
名誉会員	8 名	8 名	100 %
個人会員	462 名	351 名	76 %
法人会員	72 社	69 社	96 %
特別会員	4 社	4 社	100 %

※ 会員規程第9条第2項に基づき、2017年度から3年間会費未納の者（法人を含む）は、2020年3月31日をもって退会扱いとした。特に中国在住個人会員は、会費徴収が困難なため、減少した。

6) 職員に関する事項

職名等	氏名	就任年月日	担当事務	備考
事務局長	本田 伸吾	2012年5月1日	協会事業の管理・運営及び事務局事務の管理・運営全般	重要な使用人
事務局次長	岡田 光子	2013年4月1日	事務局事務の管理・営全般及び事務局長の補佐	重要な使用人
事務局長補佐	寄兼 良輔	2018年9月1日	事務局事務の管理・営全般及び事務局長の補佐	重要な使用人 ※2020.3.31付退任
一般職員	末原 珠生		事務局事務(事業全般)	
嘱託職員	4名		事務局事務	

7) 役員会等に関する事項

① 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
2019.06.10	公益第12回定時評議員会 <u>決議事項</u> 2018年度計算書類(決算報告)の承認の件 理事の選任の件 監事の選任の件 <u>報告事項</u> 2018年度事業報告の内容報告の件 2019年度事業計画、収支予算の内容報告の件	全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決
2019.08.29	公益第13回評議員会(決議の省略) <u>決議事項</u> 評議員の辞任に伴う補欠選任の件	全員一致可決

② 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
2019.05.23	公益第24回理事会 2018年度事業報告の件 2018年度決算報告の件 公益第12回評議員会(定時)の招集の件 新理事・監事候補者の決議の件 経理規程改定の件 業務執行状況の報告	全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決
2019.06.10	公益第25回理事会(決議の省略) 代表理事(会長、理事長)選定の件	全員一致可決

開催年月日	議事事項	会議の結果
2019. 08. 19	公益第 26 回理事会（決議の省略） 評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦の件 副会長の選任の件 顧問の選任の件	全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決
2019. 12. 09	公益第 27 回理事会 奨学金制度(学位取得コース)第 3 年次助成について 委員会委員の交替について 業務執行状況の報告ほか報告事項 1 件	全員一致可決 全員一致可決
2020. 03. 23	公益第 28 回理事会（決議の省略） 2020 年度事業計画(案)の件 2020 年度収支予算(案)の件 委員会委員の補充選任について その他報告事項 3 件	全員同意・異議なし 全員同意・異議なし 全員同意・異議なし

8) 許可、認可、承認等に関する事項

申請年月日	申請事項	認定年月日	備考
該当事項なし			

9) 対処すべき課題

- 1 日本財団の助成事業「日中笹川医学協力プロジェクト——日中笹川医学奨学金制度」の共同研究コースにおいて、研究者によっては日中共に共同研究と研修との混同が見られるケースがある。
- 2 学術会議の開催準備、特に 2021 年「日中笹川医学奨学金制度 35 周年記念事業（北京市/人民大会堂）」の準備に COVID-19 の影響が懸念される。
- 3 中国のニーズに応え、2018 年度に続き 2019 年度も「中国病院長病院管理訪日研修(第 2 回現代病院管理制度研究討論会)」を実施した。他団体からも類似する研修要望もあるが、訪日団員の質・マナーの確保(訪日者変動、スマホ閲覧等)が課題である。
- 4 医療の国際化に係わる事業について、日本式医療の中国における拠点化に向けた事業推進が求められる。

対処方針

- 1 共同研究先は、臨床主体の医療機関は不可とし、研究環境が整っている医療機関に限るよう選考の厳格化を図る。また、応募時の「申請表（共同研究型）」を改定して厳格に運用し、日本の研究先とのマッチングをより精緻化する。
- 2 状況の推移に適宜適切に対応して、特に中国で開催を予定する学術会議については中国国家衛生健康委員会との調整に注力する。
- 3 病院長訪日団の団員構成に疑義(病院改革へ寄与できるか等)がある場合には、中国衛生健康委員会傘下の能力建設和継続教育中心との事前協議を綿密に行い、また、ルール共有化を図って中国のニーズに応える。

- 4 2019年度に引き続き、「第二次日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト（通算第8期～9期）」を実施し、これらの研修終了病院の中から中国における拠点病院をモデル化し、日本式医療の中国展開を図る。

2 役員等に関する事項

(1) 理事

役職名	氏名	任期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
会長	高久 史磨	2021.03.31	非常勤	24千円	地域医療振興協会会長
理事長	小川 秀興	〃	〃	36千円	順天堂理事長
副会長・理事	安達 勇	〃	〃	36千円	
業務執行理事	跡見 裕	2021.03.31	非常勤	24千円	
	新井 一	〃	〃	36千円	
	春日 雅人	〃	〃	24千円	
	日比 紀文	〃	〃	36千円	
理事	池谷 田鶴子	2021.03.31	〃	24千円	
	尾身 茂	〃	〃	12千円	地域医療機能推進機構 理事長
	加藤 照和	〃	〃	12千円	株式会社ツムラ 代表取締役社長
	住友 雅人	〃	〃	12千円	日本歯科医学会連合 理事長
	手代木 功	〃	〃	—	塩野義製薬株式会社 代表取締役社長
	永田 良一	〃	〃	12千円	株式会社新日本科学 代表取締役会長兼社長
	林 謙治	〃	〃	24千円	
	林崎 良英	〃	〃	—	
	平岡 眞寛	〃	〃	12千円	
	堀田 知光	〃	〃	12千円	
	松原 謙二	〃	〃	12千円	
	三宅 養三	〃	〃	24千円	公益社団法人 NEXT VISION 理事長
	宮島 俊彦	〃	〃	24千円	日本製薬団体連合会 理事長
山下 俊一	〃	〃	12千円		

注) 報酬等は理事会・評議員会等の出席手当

退任理事	庄田 隆	〃	〃	12千円	
------	------	---	---	------	--

注) 第24回理事会（2018年度事業報告、決算報告）への出席手当

(2) 監事

役職名	氏名	任期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
監事	金井 淨	2021.03.31	非常勤	36千円	
	近藤 達也	2023.03.31	〃	12千円	一般社団法人 MEJ 理事長

注) 報酬等は理事会・評議員会等の出席手当

(3) 評議員

役職名	氏名	任期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
評議員	荒木 暁子	2021. 03. 31	非常勤	—	
	石館 光三	〃	〃	12 千円	
	一戸 達也	〃	〃	—	
	緒方 剛	〃	〃	—	
	緒方 晴彦	〃	〃	12 千円	
	尾松 素樹	〃	〃	—	
	杉山 清	〃	〃	12 千円	
	曾根 智史	〃	〃	—	
	高橋 和久	〃	〃	12 千円	
	高松 研	〃	〃	12 千円	
	田平 武	〃	〃	12 千円	
	寺本 明	〃	〃	12 千円	
	根本 則道	〃	〃	12 千円	
	範 江林	〃	〃	12 千円	
	松本 謙一	〃	〃	12 千円	サクラグローバルホールディング 代表取締役会長
	道永 麻理	〃	〃	12 千円	
	三村 孝仁	〃	〃	—	テルモ株式会社代表取締役会長
	山口 建	〃	〃	—	静岡県立静岡がんセンター総長
山田 陽城	〃	〃	12 千円	NPO 法人 DNDi Japan 理事長	
渡邊 和久	〃	〃	—		

注) 報酬等は理事会・評議員会等の出席手当

(4) 役員等の報酬等

区分	人数	報酬等の総額	備考
理事	21 名	420 千円	退任理事 1 名を含む
監事	2 名	48 千円	
評議員	21 名	144 千円	

3. 業務の適正を確保するための体制等の整備についての決議の内容の概要

(1) 業務執行理事の分担執行に係る業務分担基準を改定した。

2019年度事業報告書
公益財団法人日中医学協会
TEL 03-5829-9123
FAX 03-3866-9080
発行日 2020年5月20日
発行人 小川秀興
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-4-3
住 泉 K M ビル 6 階